

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	情報システム基礎学特論1		
英文授業科目名	Advanced Topics in Information Systems 1		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	情報システム学研究科-情報システム基盤学専攻-応用科目		
開講学科・専攻	情報システム基盤学専攻		
担当教官名	北村 浩		
居室	客員教員		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kitamura@sd.is.uec.ac.jp	

【講義の狙い，目標】
インターネットの通信に関する様々な技術などを取り上げながら、インターネットの通信プロトコルの専門家/研究者に必要な基本的知識や技術を習得する。

【内容】
<p>(a) 授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターネットの歴史 2. IETFにおける標準化 3. インターネット通信プロトコルの基本 4. IPv6 / Mobile IPv6プロトコルの基本機能 5. 通信プロトコルに関わる様々なツール <p>(b) 授業の進め方 実例などを交えた インターネット通信に関する講義を行う。 Suicaなどで用いられている Felica をベースとした非接触ICカードによる出欠確認を行うので、(必須ではないが)非接触ICカードを持参するように。</p> <p>(c) 授業時間外の学習（予習・復習等）について 現在の生活に不可欠なインターネット通信技術に関する講義であり、日頃の研鑽を必要とする。</p> <p>(d) オフィスアワー：授業相談 適宜相談に応じるが、e-mailなどで事前にアポイントを取ること</p>

【教科書，参考書】
講義の中で参考書などの紹介を行う。

電気通信大学 平成20年度シラバス

【予備知識】

インターネットの通信プロトコルTCP/IPの基本的な知識や関連する技術や知識を持っていることが望ましいが必須ではない。TCP/IP実装と関係の深いUNIXの知識も講義の理解を助ける。

【演習】

必要に応じ、受講者が主体的に考えられるような演習的なものを予定している。

【成績評価方法及び評価基準】

レポートなどを中心に判断するが、授業への取り組みなども考慮の対象とする。

【その他】

インターネットの通信プロトコルの標準化などの最前線にふれてみたい人には興味深いものになるはずである。